



第330号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



暑さに負けず



カット：本多紘子

梅雨が明ければ猛暑の夏、予報では雨の日が少なく酷暑の厳しい夏になるようです。地球温暖化の影響で年々暑くなるのか、日本も熱帯地方の気候になりそうですね。高齢者やお子様達には熱中症が心配です。皆様、水分を小まめにとつて暑さを乗り切りましょう。

お寺の庭も雨が降り続けると雑草だらけとなり、庭木も花も見えなくなつて困つていますが、雨が降らないと朝夕に水道の水を撒くので水道代と時間に追われるので、これも困ります。ある説法で「有つて困る、無くて困る。困るは己の心」と聞かされたことが有りますが、その通りの愚僧の心です。皆さん、「有茶苦茶 無茶苦茶」という言葉を知っていますか。茶が有れば茶に苦しむ、茶が無ければ茶に苦しむと読みます。お盆のお参りで一軒一軒の檀家さんにお茶を出されると汗が噴き出し困ります。だからといって全然お茶がないと喉がカラカラになつて困ります。それと同じように、夏休みで子供がいればうるさくて困るし、子供がいないと寂しがる。そんな自分勝手な人のことを無茶苦茶の人と呼びます。「有つて好し、無くて好し。降つて好し、晴れて好し。いつまで生きても好し、いつ死んでも好し」という境地を目指し、仏法を学びたいものですね。

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

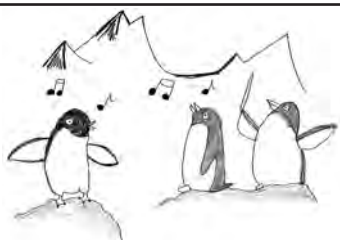
愚僧も団塊の世代で古稀を迎え、自分ではまだまだ高齢者と言われたくないと思つていますが、昨年から無理をすると身体が動かなくなつたり疲れやすくなりました。結婚が遅く、お寺の後継候補の長男がまだ21歳の大学生なので、当分は愚僧が頑張る予定です。身体が少々弱つても、頭さえしっかりしていればと思つていましたが、物忘れも増えつつあり少しだけ不安です。でも老化は誰にでもおこるので、ありのままの自分を素直に受け入れるように努力しています。

最近、高齢者の方が自動車の運転で大きな事故を起こし、マスコミに大きく報道されています。高速道路の逆走やスーパーやコンビニ店の駐車場でブレーキとアクセルの踏み間違い等で、死亡事故が増加して社会問題ともなっています。警察署は高齢者の運転免許返還を奨励していますが、病院や買い物をするのに交通手段が不便な人はなかなか免許証の返還は出来ないようです。高齢者の自動車事故に、認知症の方が多く含まれているので、日本では医師に認知症と診断されると一律で免許は取り消しや停止となります。認知症のドライバーは昨年の7月時点で5500人もいますので怖いことです。

昔は認知症と言わずに痴呆症と呼びました。痴呆症を辞書で引いてみると、①愚かな症状②一度獲得された知能が、後天的な大脳の器質的障害のため進行的に低下する状態。アルツハイマー型。幻視・妄想する認知機能障害型。脳の血液循環が悪い脳血管性型。とあり、加齢による物忘れとは違います。加齢による物忘れは自覚症状があり日常生活に支障がありませんが、認知症は病気であり全てを忘れ、自覚症状も無いので日常生活に支障があり、高齢者に多くなります。

関西では、時に間違えた行動やぼんやりしている人を「この呆け」と言うときがあります。反応の鈍い人を「呆けナス」と嘲ることもありますが、関西弁は何となく言葉の響きが軽く、相手も深刻に受け取らないのがいいですね。私たちが「寝ぼける」のは仕方ないが、人として「欲呆け」だけには気をつけたいものです。合掌(奥原 曇龍)

『死ぬまでは何が起るかわからない 同じ呆けても避けたい欲呆け』 どんりゅう



カット：奥原 綾

ともしび説法

日時・七月二十一日「金曜日」 午後一時から午後四時頃まで
八月二十三日「水曜日」 午前十時から十二時半頃まで
場所・倉敷市早高 426 新本堂 電話 086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



お釈迦様ものがたり(9)

お釈迦様について、途中から読者になられた方に簡単に『仏教語辞典』に書かれていることを記してみます。

「釈迦」とは、①アーリア族の王族に属する古種族。②釈迦牟尼のこと。仏教の開祖である。生誕年代には異説があつて定説は見えないが、一説には紀元前四八三年、北方の仏教の資料では、四月八日、いまのネパール地方のカピラ城城主浄飯王の子として生誕。正式名はゴータマ・シッダルタです。姓はゴータマ(最上の牛)、名はシッダルタ(覚った人・人格者)です。二十九歳で生死解脱の法(人生の不安や苦悩から解放される道)を求めて出家し、三十五歳で悟りを得、仏となつた。以来、四十五年にわたりインド各地を布教。八十歳にしてカピラ城にやや近いクシナガラで二月十五日入滅(死亡)した。

以上、出来るだけ簡単に釈迦様の紹介をしました。釈迦というのとは種族の名前なので、本来はゴータマ・ブツダと呼ぶべきですが、日本ではお釈迦様と呼んでいます。

ゴータマとは「最もすぐれた牛」という意味であり、インドではよい姓であると考えられていました。牛を尊重する思想はヴェーダ聖典のなかにも現れており、また牛が尊ばれたということは、すでに釈迦族が定住的な農耕生活を営み、牛が重要な労働力として重んじられていたことを示しています。

釈迦族は一種の共和政治を実施しており、王様の独断ではなく、貴族達によって公会堂で政治を議決していたことが示されています。このように釈迦族の雰囲気は全体として自由主義的であり、当時としては進歩的であったといえます。しかし、釈迦族は小国であり完全な独立国ではなかった。近隣の大国コーサラの従属国だったので。母はマヤー(摩耶)夫人で、ネパールのルンビニー園でお釈迦様は誕生します。合掌 (奥原豊龍)

打ち上げの花火夜空を焦がすかな 熱く燃えろと命のともしび 田辺多恵子



下津さん一族とどんりゅう師

ともしび法話

梅雨が明ければ、猛暑の夏です。皆様お元気でしようか。夏休みを楽しみにしているお子様に対して、母親は大変ですね。心光寺ではお盆のお参りを予定していますので、住職は暑い中を門徒の家でお経をあげてまわるのは大変です。住職にお茶を出す汗になり疲れそうですよ。

心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子
説法を聞いても聞いても忘れられるよ
そんな私を私は離さず
悲しみや悩みは死ぬまで消えないが
そのままそのまま救う阿彌陀仏
倉敷市中央 山田 孝治

今年も暑い夏がやって来ました。後期高齢者の私ですが、死ぬまで元気で長生きしたいと願っています。過去の失敗は忘れ、人の悪口を言わず、明るく励みたいな。
倉敷市福島 松本 和子

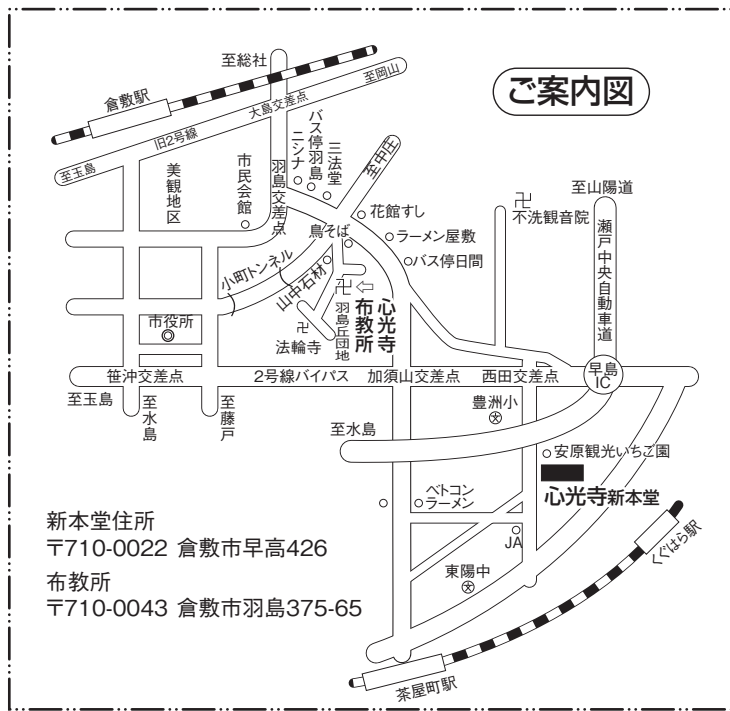
心光寺の仏具磨きに初めて参加させていただきました。真鍮の仏具は磨くと大変に綺麗になり、心もピカピカになりました。
倉敷市中央 世良 貴恵

ともしび説法

日時・七月二十一日「金曜日」 午後一時から午後四時頃まで
八月二十三日「水曜日」 午前十時から十二時半頃まで
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り
(宗派を問わず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定
九月 四日(月)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
十月二十五日(水)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
十一月 三日(金)・午前十時半から午後四時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。
会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



新本堂住所 〒710-0022 倉敷市早高426
布教所 〒710-0043 倉敷市羽島375-65

◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございます。
倉敷市 高橋様 田邊様 三千元
倉敷市 小山様 切手三千元
倉敷市 堀春良様 松本和子様 山形田鶴子様 五千元

夏の詩

日が落ちてむんむん暑い
夕立が来そうで来ない
アイスクリーム食べながら
暑い暑いと扇風機をまわす
海や山が恋しいな
冬から春 春から夏
約束無しに猛暑の夏がきたよ



カット:吉岡美枝

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしょうにん)です。
お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうとしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「330号」となりました。心光寺は人生に疲れたり迷ったとき、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。
ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方はお寺まで、ご連絡下さい。 合掌 総代長 三村健